

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	日下部 麻美 坂本 典子 谷岡 智子	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>様々な状況・疾患をもつ子どもとその家族について理解した上で、療養生活から生じる問題や必要な看護について学ぶ。</p> <p>1. 検査・処置を受ける子どもについて、基礎的知識と看護が理解できる。 2. 子どもにおける疾病の経過と看護が理解できる。 3. 健康障害をもつ子どもによくみられる症状とその回復への看護が理解できる。 4. 健康障害のある子どもと家族の特徴を理解し、看護の役割が理解できる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験 90%(日下部70%、坂本10%、谷岡10%) レポート課題 10%(日下部10%) ※詳細は第1回授業で提示します。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(臨床総論第3～8章) ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院(第1～5章)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>学習範囲が広いので、教科書を中心にしっかりと予習し、授業後は資料の整理をするなど、復習をしましょう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学習範囲が多岐にわたっていますので、しっかりと予習・復習をしましょう。(日下部)技術演習も予定しています。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	検査・処置を受ける子どもの体験について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)	
	各コマにおける授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護① 子どもにとっての体験、安全・安楽、与薬、輸液管理 課題の提示 (担当:日下部)				
第2回	授業を通じての到達目標	検体検査を受ける子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)	
	各コマにおける授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護② 検体検査(採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺) (担当:日下部)				
第3回	授業を通じての到達目標	呼吸症状の緩和、救急処置が必要な子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)	
	各コマにおける授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護③ 呼吸症状の緩和、救命処置 (担当:日下部)				
第4回	授業を通じての到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護技術を実施することで留意事項を述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)	
	各コマにおける授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護④ 技術演習 (担当:日下部)				
第5回	授業を通じての到達目標	慢性期の子どもの経過と看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護① 慢性期の子どもの看護 (担当:谷岡)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護② 急性期の子どもの看護 (担当:谷岡)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	周手術期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護③ 周手術期の子どもの看護 (担当:日下部)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の子どもの経過と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもにおける疾病の経過と看護④ 終末期の子どもの看護 (担当:日下部)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱、脱水などの症状を示す子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	症状を示す子どもの看護① 発熱、脱水、下痢・嘔吐 (担当:坂本)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸困難、けいれんなどの症状を示す子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	症状を示す子どもの看護② 呼吸困難、けいれん (担当:坂本)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある子どもの看護と子どもの虐待について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第7・8章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	障害のある子どもと家族の看護 障害のとらえ方、子どもと家族への支援 子どもの虐待と看護 (担当:日下部)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先天異常のある子どもと新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第1・2章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護① 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護 (担当:日下部)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第2章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護② 新生児の看護 (担当:日下部)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	代謝性・内分泌疾患の子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第3・4章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護③ 代謝性・内分泌疾患と看護 (担当:日下部)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギー性疾患の子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論第5章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護④ アレルギー性疾患と看護 (担当:日下部)		